

ズームアップ

商社の人と仕事

富士山北麓の天然水を いつでも楽しめる暮らし

～生活に密着した商品とサービスを通して、
健康生活の新提案をしたい～

やま だ とも え
山田 朋恵

岩谷産業株式会社
総合エネルギー本部 水プロジェクト営業部副長

皆さんは、いつも飲んでいる水について考えたことはありますか？私たちが、イワタニグループでは現在「富士の湧水」というブランドで水の宅配事業（HOD：ホーム・アンド・オフィスデリバリー）に取り組んでいます。富士山北麓の自社工場でボトリングした天然水を11.4リットル（約3ガロン）入りのガロンボトルに詰め、ご家庭やオフィスにお届けしています。冷水と温水が出るディスペンサーの上にガロンボトルをセットするだけで、お茶の間やダイニングでいつでも簡単においしい天然水を楽しんで

いただけるシステムです。

現在ミネラルウォーター市場は急速に拡大しており、ここ6年で約2倍となっています。皆さんもコンビニエンスストアやスーパーでさまざまなミネラルウォーターを目にされ、また購入されたことがあると思います。少し意識していただくと気付くのですが、そのほとんどすべては天然水だと思います。最近ではビールなども天然水を使用していることを謳っているように、本物志向の現代では、水も天然水が主流となっています。

宅配式の水の中には、コスト優先で浄水した水を使用しているものもありますが、これではスーパーで無料でもらえる水と同じです。消費者の本物の水へのこだわりは強くなっており、「富士の湧水」は本当に美味しい天然水だからこそ、お届けする価値があると考えています。



ディスペンサーに据えつけられた「富士の湧水」

1. 本業のエネルギー事業と水

イワタニグループが水事業に取り組み始めたのは2003年3月からのことで、当初はペットボトルの販売が中心でした。

2004年4月よりガロンボトル入り「富士の湧水」の宅配事業に本格参入しました。実は水の宅配事業は当社の本業であるLPガス事業と非常に相性の良い要素を数多くもっています。まず重たいもの、かさばるものを配達するノウハウとインフラをすでに持っていること。また、普段から顔見知りのお客様に商品の良さを説明できる環境にあること、そして冬場が需要期のLPガスに対して、水は夏場がハイシーズンであり相互補完ができることなどです。そして当社の経営理念の「世の中に必要な人となれ、世の中に必要なものこそ栄える」にふさわしい商品であるとの経営判断があったからにはほかなりません。

ここで少し商品の特長についてPRさせていただきます。「富士の湧水」は次のような際立った特徴もっています。

- ①「富士の湧水」はナチュラルミネラルウォーターです。地下200mの深井戸から富士山の7層の玄武岩層に磨かれた天然水を全く加熱処理せず、天然のおいしさをそのままに充填しています。
- ②天然ミネラルをバランスよく含み、また話題のバナジウムを豊富に含んでいます。バナジウムが自然の形で高濃度に含有されているのは、富士山北麓のごく限られた場所だけです。
- ③おいしく飲みやすい、軟水のアルカリ天然水なので、そのまま飲んでも、お茶やコーヒー、料理に使っても味が引き立ちます。水のおいしさは分かるものです。
- ④重い水を買って来る手間が省け、またいつでもディスペンサーから飲むことができ便利です。また、ガロンボトルはリターナブル方式なので、ペットボトルよりもはるかに環境に

やさしいのです。

2. 品質には万全を

2004年6月、新たに「富士の湧水」富士吉田第2工場が竣工しました。この工場はガロンボトル用としては製造能力、品質管理面でも国内最高水準の充填工場です。

また、「非加熱処理の天然水」をお客様に安全にお楽しみいただくために、ISO9001を取得し、HACCPに基づいた厳しい検査体制を実施しております。非加熱処理によって、おいしさの決め手となるガスや溶存酸素をそのままボトルに封じ込めるので「湧いてきたままの水の味」を楽しむことができます。お客様から、「『富士の湧水』は、湧き水を汲んだような味がする。他社の水とは味が違う！」と言われておりますが、全くそのとおりで、それだけ産地や製法によって、味など中身が変わるのです。お茶やお料理に使ったり、飲み比べをしたりすることで違いを感じることができます。

欧州発のおなじみのミネラルウォーターブランドでは、湧いてきたままの天然水をそのまま充填して販売しています。そのため、水はもとより、環境保護やペットボトル等資材含め、衛生管理に大変力を入れているのです。だからこそ、非加熱の「おいしい湧き水」を提供できるのです。彼らはこれを「ナチュラル・ミネラル・ウォーター」として差別化しています。



「富士の湧水」富士吉田第2工場

3. 良い水を飲むことの大切さを伝えたい

そもそも生活習慣病とは現代人の食事や栄養の取りすぎがなせる悪行です。高脂血症、糖尿病をはじめとする生活習慣病を改善するには余計なものを取らない、不要なものを捨てる、必要な栄養素を摂取することから始まります。女性が気にする美容やダイエットについても基本は同じで、「摂って、捨てる」の新陳代謝サイクルが正常であれば、健康に美しくいられます。だからこそ「富士の湧水」ディスペンサーは、毎日こつこつ水を飲み続けるための、飲みたいときにいつでも、一押しで楽しめる「便利な道具」なのです。同じ摂取するなら質の良い水はいかがでしょうか？私自身、両腕にアトピーのように痒くなり、赤黒く腫れていた部分があったのですが、この水を飲み始めて、すっかり良くなりました。同じような体験談は多数寄せられています。

私の仕事は、主に販売代理店のサポートになります。「富士の湧水」の商品知識を深める勉強会を開催したり、販売代理店との同行でお客様を訪問して、ご意見を聞かせていただき、商品や販売の仕組みの改善をしております。海外ではおなじみのディスペンサー方式も、日本の

お客様にはまだこれから浸透していく段階で、それだけに市場が若い今だからこそ、勝負どころだと言えます。

余談ですが、販売代理店の勉強会のときや展示会など「ここぞ！」と言うときには私の誕生日のブルートパーズのピアスやペンダントをしたり、青色が入っているシャツを着たりします。お客様に少しでも多く「富士の湧水」の良さを伝えられるように、ということと、私自身の思考がクールでいられるように、との思いから身につけています。

「富士の湧水」の特徴のひとつを取っても、バナジウムだったり、宅配だったり、おいしさだったりとさまざまな切り口があります。お客様の関心事項がどこなのか、しっかりと押さえてご説明することで信頼関係が生まれ、お客様とは、が納得して、「富士の湧水」を飲んでいただけるのです。

お客様にいろいろなポイントから近づくことで、お客様自身の生活のリズムについて教えていただいたり、話題が広がるきっかけにもなります。また、本当に「富士の湧水」を気に入っていただいたお客様から、新たに別のお客様をご紹介いただく機会が増えてきました。とてもありがたいことで、こういったお客様とは最も長いお付き合いになります。情報が信頼で補強されているからです。

毎日一杯の水をこつこつと継続することから、家族や自分の健康を大事にすることになります。家族で過ごす時間を明るく、有意義にすることができます。誰だって、一緒に過ごすときは笑顔でいてほしいものですよ。そうしてお客様自身の生活の質が向上していくのです。

ですから、ぜひともこの事業を「健康生活の提案材料」として、「幸せ家族の礎」「幸せライフライン」となるよう、丁寧にがんばっていきたいと思います。

JFC



工場でのボトリング